

パパもママも大助かり！ 元気を 育いい・育ばあ 大築あ

こどもの日
特集

孫との触れ合いが生きがいに!



福島県老人クラブ連合会
事務局長 齋藤千恵子さんにインタビュー

孫育ては祖父の新たな活躍の場

最近忙しい親に代わり、孫育てに積極的に関わりたいという祖父たちが増えています。でもいざ孫と関わろうと思っても、「子育てよりも仕事が第一」だった世代の男性たちは育児の仕方が分からない。そんな皆さんが自信を持って孫育てができるようにと、昨年郡山市と会津若松市で「祖父のための孫育て講座」を開催しました。受講者は、両会場合わせて60～80代の男性約40人。全国で孫育て講座を実施する「エガリテ大手前」の指導のもとでじっくり学び、修了後は「孫育てができる祖父」を表す認定資格「ソリエ」の認定証を手に入れました。

祖母はもちろん、祖父もどんどん孫育てに協力することで、親は心にゆとりが生まれます。自分が必要とされれば、それはおじいちゃんたちの生きがいにもなりますよね。家族間のコミュニケーションも増えますし、孫育てから広がる地域の子もたちとの触れ合いが、社会への恩返しにもつながります。おじいちゃんの新たな活躍の場ともなる孫育ては、祖父・親・孫・地域の「4者4得」なのです。

そうはいつても子育ての主役はやはりお父さん・お母さん。若い親たちの育児方針を尊重しながら、孫育ての「応援団」として温かく見守っていくことが大切です。

取材協力/福島県老人クラブ連合会☎024-523-2131

「祖父のための孫育て講座」に参加



郡山市熱海町在住

阿部禮子さん(69歳) 阿部公一さん(71歳)

橋詰彩花ちゃん(5カ月)

阿部花梨ちゃん(7歳) 阿部遥真くん(11歳)

昨年、福島県老人クラブ連合会主催「祖父のための孫育て講座」に参加した阿部公一さん。講座に参加して間もなく、3人のお孫さん・彩花ちゃんが誕生したそう。「講座では沐浴(もくよく)を学びましたがすぐに実践することができ、大変役立ちました。上2人の孫は近くに住んでいますが、沐浴の経験はなかったもの」。

阿部公一さん(71歳)は、毎朝、朝のうちに祖母の自宅に帰る。洗濯したり、遊んだり、溜まりに溜まりながら、お孫さんの成長を待たずに育っている。阿部公一さん(71歳)は、毎朝、朝のうちに祖母の自宅に帰る。洗濯したり、遊んだり、溜まりに溜まりながら、お孫さんの成長を待たずに育っている。

取材の様子をそばで見ていた阿部公一さんは、「孫たちはほほしりっけなく育っています。公一さんもお孫さんたちと時間を過ごして、お孫さんたちの成長を待たずに育っている」と元高橋の理科教師としての経験も話をしています。

「おじいちゃんには優しいけれど、時には厳しい。おじいちゃんといると時間は楽しい」と口をそろえる阿部公一さん(71歳)は、お孫さんたちと過ごす時間は、お孫さんたちの成長を待たずに育っている」と元高橋の理科教師としての経験も話をしています。